



UR 都市機構で初の自立型ソーラーバスシェルターを設置 ～八王子市 館ヶ丘団地～

UR 都市機構（独立行政法人都市再生機構）東日本賃貸住宅本部は、館ヶ丘団地（東京都八王子市）において、自立型ソーラーバスシェルター及び防災倉庫を設置し、平成 25 年 10 月 15 日（火）より利用開始します。



自立型ソーラーバスシェルター及び防災倉庫

お問い合わせは下記へお願いします。

ストック事業推進部 南多摩地区・地方都市再生チーム

（電話）03-5323-2583

総務部 総務・法務チーム

（電話）03-5323-2555

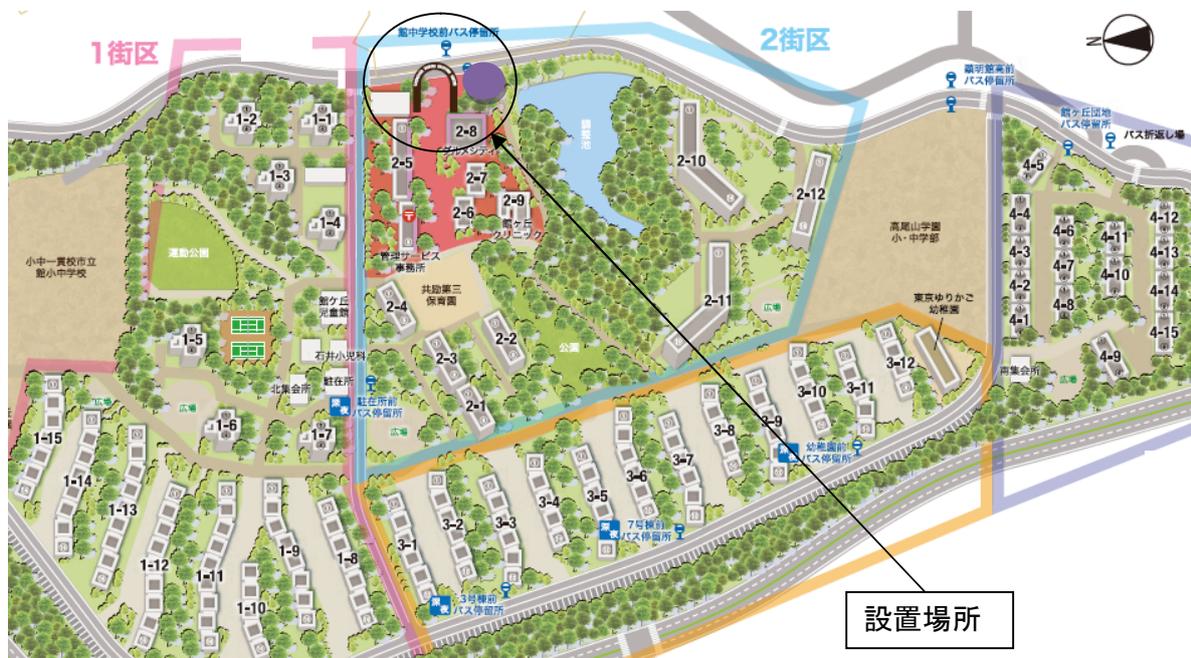
○特長

この自立型ソーラーバスシェルターの特長は次のとおりです。

- ①ガラスボックス形状のバスシェルター（バス待合所）とボックス形状の防災倉庫の2つの建築物により構成されています。
- ②「自立型」とは、バスシェルター及び防災倉庫に必要な電力（空調及び照明等）を、外部からの電力とソーラーパネルを活用し、自ら発電することにより確保する仕組みです。
- ③インターネット接続可能な wi-fi 基地局としての機能も備えており、災害時にはキャリアフリーでスマートフォンやタブレット端末を利用した通信が可能となるよう整備を行う予定です（平成 25 年 11 月稼働予定）。

館ヶ丘団地は、最寄りの「高尾駅」からバスで約 10 分の所に位置し、お住まいの方の多くはバスを主たる交通手段として利用しています。

これらの施設を団地の中心街区に設けることにより、バス利用時の快適性、利便性を確保し、団地を含む地域全体の防災機能の向上を図ります。



館ヶ丘団地配置図

■ 参考資料

自立型バスシェルターなどの写真

①バス停に隣接する自立型ソーラーバスシェルター及び防災倉庫



②バスシェルター上にソーラーパネル搭載



③自立型バスシェルター室内(冷暖房完備)



④かまどベンチ

※非常時に座面を裏返すとかまどになります。



※奥のTVはバス到着確認用です。